4/10 赤旗

駅にミサイル死者52人

ウクライナ「戦争犯罪」責任追及

【イスタンブール＝時事】ウクライナ東部ドネツク州クラマトルスクの鉄道駅で多数の民間人が犠牲となった8日の弾道ミサイル攻撃で、ウクライナや欧米はロシア軍が撃ち込んだとみて、新たな「戦争犯罪」と厳しく非難し、責任を追及する構えを強めました。ドネツク州当局者によると、死者数は少なくとも52人となりました。↓関連⑤面

ウクライナのゼレンスキー大統領は8日夜の声明で、「ロシアの新たな戦争犯罪であり、関与した全員が責任を問われる」と強調。「この戦争犯罪に対する断固とした世界的な対応を期待している」と語り、ウクライナの首都キーウ（キエフ）近郊ブチャでの民間人殺害と同様にロシアを裁かなければならないと訴えました。駅は当時、女性や子どもら約4000人の避難民で混雑していたとされます。

一方、ロシア国防省は「攻撃はウクライナ軍が行った。住民を『人間の盾』として利用するため、大規模な避難を阻止することが目的だった」などと主張し、関与を否定しています。

「国際法に著しく違反」

国連事務総長 声明出し指摘

【ワシントン＝島田峰隆】グテレス国連事務総長は8日、報道官を通じて声明を出し、ウクライナ東部ドネツク州クラマトルスクで鉄道駅がミサイル攻撃を受けたことについて、「国際人道法と国際人権法に著しく違反する。犯人に責任を取らせねばならない」と指摘しました。

グテレス氏は民間人や民間施設への攻撃は「まったく受け入れられない」と強調。すべての当事者に対し、民間人の保護を定めた国際法の義務を守ることと、安全な避難と人道支援アクセスを可能にする人道的停戦に合意することを呼び掛けました。